



# 保健だより げんきっこ

No. 411  
令和7年12月1日発行  
ことぶき保育園



☆今月のテーマは「体について知ろう」です。

**五感とは...**何かを感じることを感覚と言い、感覚には、視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚の5種類があるので「五感」と呼んでいます。  
五感を感じる部分は、目、耳、鼻、舌、皮膚でそれらを感覚器といいます。



				
視覚 (目の働き)	聴覚 (耳の働き)	嗅覚 (鼻の働き)	味覚 (口の働き)	触覚 (皮膚の働き)
目で見ただものから情報を得ることができ、子どもの視力は産まれてから約6年～7年かけて物を見ることによって発達します。	にぎやかな場所でも、特定の人の言葉に集中して聞き分けることができる能力を持っています。	鼻には呼吸を助ける働きの他に匂いを感じ取ることで、食べものを美味しいと感じることが出来ます。	口には食べる、言葉を話す、呼吸を助けるなどの働きがあります。 味覚は日々の食事で育まれます。	寒い、暑い、かゆみ、痛みを感じることが出来ます。 芝生や土の上に寝転がったり、動物などを触ったりする事でも育まれます。



## 五感を刺激する遊び



### 視覚・聴覚

- ・色と形がはっきりした玩具や、絵本の読み聞かせ、鏡あそび。
- ・優しい音色の楽器や歌、自然の音（鳥のさえずり、雨音）を聞くこと。
- ・新聞紙を丸めたボールを投げ合って視覚で追ったり、音の違いを聞き分けたりする。



### 味覚・嗅覚

- ・料理の香りを楽しんだり、果物を食べ比べたりする。



### 触覚・嗅覚

- ・泥や砂、落ち葉に触れて感触を確かめる。
- ・小麦粉、粘土、寒天ゼリーなどをこねたり、ちぎったりして感触を楽しむ。

